

令和7年12月19日

人権だよりあすなろ 第91号

上浮穴高等学校 人権教育課

年の瀬も近づいてきましたが、みなさんにとてこの一年はどんな一年でしたか？

2学期も人権・同和教育に関する様々な取組がありました。本号では、「人権フィールドワークへの参加」「人権・同和教育に関するホームルーム活動」「全校人権・同和教育に関する学習会」について、紹介・報告をします。

1 人権フィールドワーク参加（7月31日 ハンセン病国立療養所 岡山愛生園訪問）

中予地区8校合同で参加しました。



こちらの活動については、人権フェスティバルでも発表させていただきました。その時の資料をホームページにUPしておりますので是非ご覧ください。

2 人権フィールドワークへの参加
国立療養所 長島愛生園（岡山県）訪問
令和7年7月31日（木）
松山東 松山南 松山北 松山中央
松山工業 松山商業 松山西
上浮穴（生徒4名参加 8校参加）

新たな疑問
▶初代園長 光田 健輔医師の功業について
令和6年度に他校生が質問し、今年度も
気になっていた。初代園長のことを患者は
どう思っていたのか。
光田医師とは

（12月上高日記）



（9月おたより）

2 人権・同和教育に関するホームルーム活動の実施（10月）

2学期は次のようなテーマでホームルーム活動を行いました。

学年	テーマ
1年	「自分の周りに目を向けようⅠ」 —互いを尊重し認め合えるクラスを目指して— —共生社会を目指して—
2年	「人権獲得のあゆみⅡ」 —解放令の布告— —水平社宣言から学ぶ—
3年	「幸せな社会の実現Ⅱ」 —結婚差別の解消—

各学年とも、1学期より進んだテーマで学習しました。御家庭で話し合ってみてください。

3 全校人権・同和教育に関する学習会の実施（11月20日）

本年度は講演会の形ではなく学習会の形を取り、拉致問題啓発DVD「めぐみ」を視聴しました。視聴したことがある生徒もいましたが、事前学習を行ったことで、より理解が深まったようでした。



生徒の感想

- ▶ 人権の重さについて深く考えさせられた。その人の権利も、周りの人の権利や幸せも奪う拉致は許せない。
- ▶ 差別や暴力、国家間の問題などで犠牲になる人がいてはいけないという強いメッセージを感じた。
- ▶ 僕たちには人権を守る社会を作る責任がある。

- ▶ 「少人数の日本人の命より、北朝鮮との関係の方が大事」と国が言ったことはショックだった。
- ▶ 自分だったら、自分の家族だったら、と考える必要がある。
- ▶ 救出のためには、関心を持ち続けることが大事だとよく分かった。

などです。

※ 3学期の「あすなろ」は、「3学期人権・同和教育に関するホームルーム活動」「1年：デートDV防止講座」についてお伝えする予定です。

本年も、本校の人権教育にご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。

3学期もよろしくお願ひいたします。

事前学習

- ▶ そもそもなぜ日本人が拉致されたのか、拉致の目的は？
- ▶ どこで拉致されたのか。
- ▶ 拉致が明るみになったきっかけ
—1987年 大韓航空機爆破事件—

《理解したこと》

- 「拉致」も「飛行機爆破事件」も、北朝鮮によるテロ行為であり、日本人の人権や日本や欧州の国家主権を無視した重大な人権侵害である。
- 日本は、北朝鮮との国交回復に力を入れていたという事情があった。
- 認定されている以上の拉致が考えられ、ほとんどの人が帰国できていない。など

